

県道山久保平ヶ崎線 日光市平ヶ崎・千本木地内 白崖橋工区 供用開始



◆県道山久保平ヶ崎線 白崖橋工区は令和7(2025)年10月15日(水曜日)に供用を開始しました。

事業概要

背景・目的

県道山久保平ヶ崎線に架かる「白崖橋」は、一級河川行川を渡河する橋梁で、1964年の架設から60年が経過していました。

この橋は幅員が狭く、一般車両の対面通行が困難であるなど、安全で円滑な通行の確保に課題がありました。

さらに、平成29(2017)年に実施した橋梁点検の結果、橋の老朽化が判明し、補修による延命が困難であることが判明したため、橋梁の架け替えを目的とした整備事業を実施しました。

効果

- ・車両のすれ違いが容易となり、安全性が向上
- ・老朽化した橋の更新により、災害時の通行確保や地域の防災力が強化

～白崖橋工区 全体事業概要～

路線名 : 一般県道山久保平ヶ崎線
全体延長 : L=240m
事業期間 : 平成28(2016)年～令和8(2026)年
事業費 : 約5億円

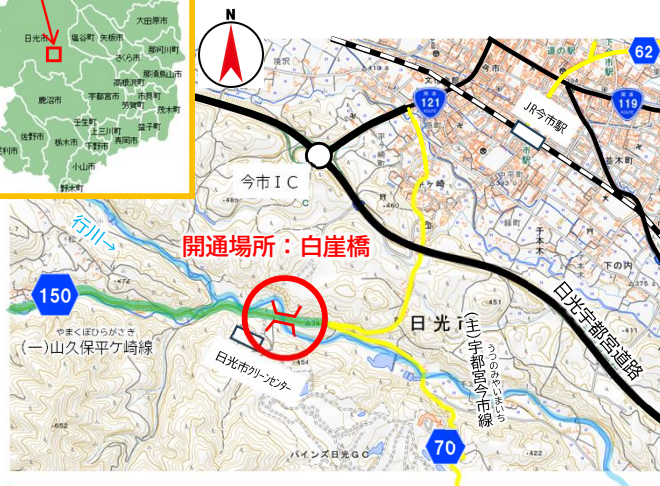
～白崖橋概要～

橋長 : L=25.0m
幅員 : W=7.5m(車道2.75m@2車線、路肩1.0m)

事業位置



位置図



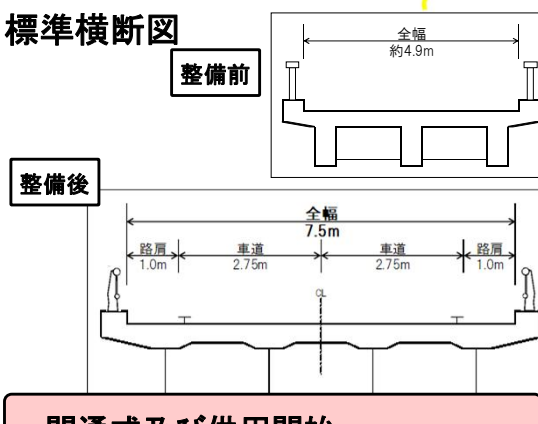
整備前の状況

東から西を望む



架け替え前の白崖橋

標準横断面図



供用開始前の状況 (R7. 9. 30撮影)



～開通式及び供用開始～

令和7(2025)年10月15日(水)
開通式 : 午前10時～
供用開始 : 午前10時45分～

県道山久保平ヶ崎線 日光市平ヶ崎・千本木地内 白崖橋工区 供用開始

県道山久保平ヶ崎線 日光市 白崖橋工区 L=240m区間について、令和7年10月15日（水）午前10時45分に供用を開始しました。

今回の事業により、幅員が狭く補修が困難であった橋梁を新しく架替えたことにより、安全で円滑な通行が確保されます。

整備前の様子

今市市街地側から小来川方面を望む



整備後の様子

今市市街地側から小来川方面を望む



VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ

